

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 11 月 11 日 (2021.11.11)

【公表番号】特表 2020-536988 (P2020-536988A)

【公表日】令和 2 年 12 月 17 日 (2020.12.17)

【年通号数】公開・登録公報 2020-051

【出願番号】特願 2020-519077 (P2020-519077)

【国際特許分類】

C 0 8 L 77/00 (2006.01)

C 0 8 L 63/00 (2006.01)

C 0 8 G 59/44 (2006.01)

C 0 8 G 59/54 (2006.01)

C 0 8 G 69/26 (2006.01)

C 0 8 J 5/18 (2006.01)

B 3 2 B 27/34 (2006.01)

B 3 2 B 27/38 (2006.01)

B 3 2 B 15/088 (2006.01)

B 3 2 B 15/092 (2006.01)

H 0 1 M 10/6554 (2014.01)

H 0 1 M 50/20 (2021.01)

H 0 1 M 10/647 (2014.01)

H 0 1 M 10/613 (2014.01)

H 0 1 M 10/625 (2014.01)

H 0 1 M 10/653 (2014.01)

【 F I 】

C 0 8 L 77/00

C 0 8 L 63/00 A

C 0 8 G 59/44

C 0 8 G 59/54

C 0 8 G 69/26

C 0 8 J 5/18 C F C

C 0 8 J 5/18 C F G

B 3 2 B 27/34

B 3 2 B 27/38

B 3 2 B 15/088

B 3 2 B 15/092

H 0 1 M 10/6554

H 0 1 M 2/10 E

H 0 1 M 10/647

H 0 1 M 10/613

H 0 1 M 10/625

H 0 1 M 10/653

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 10 月 1 日 (2021.10.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

硬化性組成物であって、

ポリアミドを含むポリアミド組成物であって、前記ポリアミドが、その主鎖に三級アミドを含み、かつアミン末端化されている、ポリアミド組成物と、

エポキシ樹脂を含むエポキシ組成物と

を含む硬化性組成物。

## 【請求項 2】

三級アミドが、前記ポリアミド主鎖に存在する総アミド含量に基づいて、少なくとも 50 モル % の量で前記ポリアミド中に存在する、請求項 1 に記載の硬化性組成物。

## 【請求項 3】

前記硬化性組成物の総体積に基づいて、少なくとも 20 体積 % の量で存在する無機充填剤を更に含む、請求項 2 に記載の硬化性組成物。

## 【請求項 4】

前記ポリアミド組成物が、第 2 のポリアミドを更に含む、前記第 2 のポリアミドが、多官能性ポリアミドアミンを含む、請求項 3 に記載の硬化性組成物。

## 【請求項 5】

硬化性組成物であって、

( i ) 二塩基酸と、

( i i ) 二級ジアミン又は二級ノ一級ハイブリッドジアミンを含むジアミンと

の反応生成物を含む第 1 のポリアミド成分であり、その主鎖に三級アミドを含み、かつアミン末端化されている、第 1 のポリアミド成分と、

第 2 のポリアミド成分と

を含むポリアミド組成物と、

エポキシ樹脂を含むエポキシ組成物と

を含む硬化性組成物。

## 【請求項 6】

前記第 1 のポリアミド成分中のジアミンの二塩基酸に対するモル比が、1 . 2 ~ 3 である、請求項 5 に記載の硬化性組成物。

## 【請求項 7】

前記ジアミンが、式  $R_1 - NH - R_2 - NH - R_1$  を有し、

前記  $R_2$  基が、アルキレン、分枝鎖アルキレン、シクロアルキレン、置換若しくは非置換アリーレン、ヘテロアルキレン、又はヘテロシクロアルキレンであり、

( i ) 各  $R_1$  基が、独立して、直鎖若しくは分枝鎖アルキル、シクロアルキル、アリール、ヘテロアルキル、ヘテロアリール、又は水素原子であり、但し、両方の  $R_1$  が水素原子ではないことを条件とし、あるいは

( i i ) 前記  $R_1$  基が、アルキレン又は分枝鎖アルキレンであり、複素環式化合物を形成する、

請求項 5 に記載の硬化性組成物。

## 【請求項 8】

前記ジアミンが、ピペラジンを含む、請求項 7 に記載の硬化性組成物。

## 【請求項 9】

前記第 2 のポリアミド成分が、多官能性ポリアミドアミンを含む、請求項 5 に記載の硬化性組成物。

## 【請求項 10】

前記硬化性組成物の総体積に基づいて、少なくとも 20 体積 % の量で存在する無機充填剤を更に含む、請求項 5 に記載の硬化性組成物。

## 【請求項 11】

ポリアミドと、

エポキシ樹脂と、

前記硬化性組成物の総体積に基づいて、少なくとも20体積%の量で前記硬化性組成物中に存在する無機充填剤と

を含む硬化性組成物であって、

硬化すると、(i) 5.5%、超の破断伸び、及び(ii) 5 ~ 20 N/mm<sup>2</sup>の重なり剪断強度を提供する、硬化性組成物。

【請求項12】

硬化すると、0.5 ~ 16 N/mm<sup>2</sup>の引張強度を提供する、請求項11に記載の硬化性組成物。

【請求項13】

前記ポリアミドが、その主鎖に三級アミドを含み、アミン末端化されている、請求項11に記載の硬化性組成物。

【請求項14】

硬化組成物を含む物品であって、前記硬化組成物が、請求項5に記載の硬化性組成物の反応生成物である、物品。

【請求項15】

請求項5に記載の硬化性組成物の第1の層によって第1のベースプレートに接続された複数のバッテリーセルを含む、バッテリーモジュール。